

日本マネジメント学会機関誌『経営教育研究』執筆要領

1. 原稿は、必ず投稿規程に則って作成し、章の前後、節の前には必ずそれぞれ1行の空白行を設ける。
2. <注>および<参考文献>は文末とし、9ポイントMS明朝（英数字 century）とする。
3. <注>は、本文末に一括してまとめ、本文中の該当箇所の肩にアラビア数字・括弧の通し番号<(1)(2)(3)……>を付与すること。
4. <注>は、出所を示すためには使用せず、本文の内容を補足・解説する時にのみ使用する。
5. 本文中で参考文献を引用する場合には、括弧内に著者名と年号をアラビア数字で記入する。

例示：(山城, 1964)

6. 外国語文献の著者が2名の場合は連記する。3名以上の場合には‘et al.’をつける。人名のカタカナ書きはしない。

例示 A：(Crossan & Apaydin, 2010)

例示 B：(Dicke et al., 2003)

7. 頁数表記の場合は次の通りとする。

例示：(山城, 1964 : 30)

8. 翻訳書を使用する場合は次の通りとする。

例示：(Schumpeter, 1926, 訳書 : 33)

9. コメント、助言、研究資金等への謝辞で後<注>にするには適当でないものは、本文の後、<注>の前に謝辞として、アスタリスク(*)をつけて記述する。

10. 本文の引用・参照箇所を示す場合は、本文の引用・参照箇所の最後に括弧で著者の姓、刊行年（西暦）、該当頁を記入して、出所を示す。

例示 A：山城は、「○○○○○○○○○○○○」と述べている（山城, 1964 : 54）。

例示 B：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○については既に検証されている（森本, 2005 : 24）。

11. 本文の引用・参照箇所の出所のみを示す場合は次の通りとする。

例示 A : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (森本, 2005 : 24)。

例示 B : ○○○○○に関する先行研究には, 山城 (1964), 森本 (2001) などがあげられる。

12. <参考文献>は, 同一著者の論文・著書等は刊行年順とし, 同一年に同一著者の論文・著作等が刊行されている場合には, 「1999a」のように年号の後にアルファベットで順序をつけて区別すること。

13. 文献の表記は, 基本的には和図書, 和雑誌 (論文), 洋図書, 洋雑誌 (論文) の順序とする。

14. 和図書の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) 『タイトル』 発行所。

例示 A : 小椋康宏 (1984) 『経営財務 (増補版)』 同友館。

例示 B : 小椋康宏編 (2002) 『経営学原理 (第二版)』 学文社。

15. 和図書の単行本の中の 1 章の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) 「章のタイトル」 編著者 『タイトル』 発行所。

例示 : 小椋康宏 (2014) 「第 1 章 日本企業の経営力創成と経営者教育モデル」 東洋大学経営力創成研究センター編 『日本企業の経営力創成と経営者・管理者教育』 学文社。

16. 和雑誌 (論文) の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) 「論文タイトル」 『雑誌名』 ○ (○), 発行所 : ○-○。

例示 : 小椋康宏 (2008) 「マネジメント・プロフェッショナルの理念と育成」 『経営教育 研究』 11 (1), 学文社 : 1-13。

17. 洋図書の表記は次の通りとする。

著者 (発行年), タイトル, 発行所。タイトルはイタリック体で書く。訳書が出ている場合には () 内に訳書も書く。

例示 A : Robbie, K. and M. Wright (1996) *Management Buy-ins: Entrepreneurship, Active Investors*

and Corporate Restructuring, New York: Manchester University Press.

例示 B : Schumpeter, J. A. (1926) *The Theory of Economic Development: An Inquiry into profits, Capital, Credit, Interest, and the Business Cycle*, Harvard University Press. (塩野谷祐一・中山伊知郎・東畑精一訳 (1977)『経済 発展の理論：企業者利潤・資本・利子および景気の回転に関する一研究』岩波書店。)

本文での翻訳書からの引用表示：(Schumpeter, 1926, 訳書：33)

18. 洋図書の単行本の中の 1 章の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) “章のタイトル,” In 本のタイトル, 編集者 (ed. / eds.), 発行所. (本のタイトルはイタリック体で書く)

例示 : Cottle, R. W. and G. Infanger (2010) “Harry Markowitz and the early history of quadratic programming,” In *Handbook of Portfolio Construction*, Guerard, J. B. (ed.), New York: Springer.

19. 洋雑誌 (論文) の表記は次の通りとする。

著者 (発行年) “論文タイトル,” 雑誌名, ○ (○), pp. ○-○. (雑誌名はイタリック体で書く)

例示 : Wright, M., Thompson, S., Robbie, K., and P. Wong (1995) “Management Buy-outs in the Short and Long Term,” *Journal of Business Finance and Accounting*, 22 (4): 461-482.

付則 本規定は 2009 年 6 月 28 日から施行し、2024 年 9 月 14 日から改定実施する。